

令和5年度 第1回市政モニターアンケート
高齢者福祉事業に関するアンケート調査報告書

令和5年11月

仙台市健康福祉局高齢企画課

1 調査概要

(1) 目的

高齢者福祉に係る施策推進のため、高齢企画課所管の主な事業の認知度や幅広い世代における考え方等を把握するものとして実施。

(2) 対象者

令和5年度市政モニター 397名

(3) 実施期間

令和5年7月26日(水) ～ 令和5年8月18日(金)

(4) 実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

(5) 回答状況

回答者数 357名 (回答率：89.9%)

(6) 回答集計における留意事項

- ・回答割合については、小数点以下第2位で四捨五入しているため、回答割合の合計が100%とならない場合がある。
- ・複数の選択肢を選択する質問の回答割合については、各選択肢の回答数を回答者数で除したものである。
- ・自由記述式の質問に対する回答については、同趣旨のものをまとめ、主なものを掲載している。また、回答数が多かった質問への回答については別紙としてまとめている。なお、表現を統一するために、句読点や文末の表現等を一部修正して掲載している。

2 調査結果

問1 あなたの現在の社会生活上の性別を教えてください。

選択肢	回答数	回答割合
男	119	33.3%
女	237	66.4%
その他	1	0.3%
無回答	0	0.0%
計	357	

問2 あなたの年齢を教えてください。

選択肢	回答数	回答割合
10代	3	0.8%
20代	43	12.0%
30代	49	13.7%
40代	61	17.1%
50代	64	17.9%
60代	57	16.0%
70代	65	18.2%
80代以上	15	4.2%
計	357	

問3 あなたの居住区を教えてください。

選択肢	回答数	回答割合
青葉区	99	27.7%
宮城野区	59	16.5%
若林区	48	13.4%
太白区	80	22.4%
泉区	71	19.9%
計	357	

問4 あなたの職業等を教えてください。

選択肢	回答数	回答割合
自営業（家族従業の方を含む）	12	3.4%
会社員、団体職員等	101	28.3%
パート、アルバイト、非常勤等	67	18.8%
学生	23	6.4%
家事専業	73	20.4%
無職	75	21.0%
その他	6	1.7%
計	357	

問5-1 「高齢者食の自立支援サービス」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	69	19.3%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	112	31.4%
知らなかった	175	49.0%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-2 「緊急通報システムの貸与」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	78	21.8%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	93	26.1%
知らなかった	185	51.8%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-3 「訪問理美容サービス」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	59	16.5%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	104	29.1%
知らなかった	193	54.1%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-4 「介護用品支給」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	64	17.9%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	85	23.8%
知らなかった	207	58.0%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-5 「老人クラブ」の活動について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	168	47.1%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	113	31.7%
知らなかった	75	21.0%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-6 「ボランティア等による支え合い活動への補助」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	70	19.6%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	92	25.8%
知らなかった	194	54.3%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-7 「シルバー人材センター」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	298	83.5%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	46	12.9%
知らなかった	12	3.4%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

問5-8 「高齢者銭湯等利用交流支援」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	68	19.0%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	46	12.9%
知らなかった	243	68.1%
計	357	

問5-9 「敬老祝金」事業について知っていますか。

選択肢	回答数	回答割合
知っている	153	42.9%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	119	33.3%
知らなかった	85	23.8%
計	357	

問6-1 近年、民間企業等による安否確認を兼ねた配食サービスが充実してきている中、行政が同様のサービスを提供することについて、どのように感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
行政によるサービスを充実させたほうが良いと感じる	152	42.6%
行政によるサービスは現在の水準で十分だと感じる	74	20.7%
民間企業等によるサービスで十分だと感じる	67	18.8%
わからない	45	12.6%
その他	18	5.0%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計	357	

【その他の主な内容】

- 民間と行政の一番の違い/利点は利用料金だと思うので、民間よりも安く提供できるのであれば行政がサービスを提供する意味はあると思う。
- 安否確認が主であれば時折の配食は民間主体でOK。確認してほしい人が利用するのであれば民間では。行政は何かをしたという形を作るサービスはしない方が良いと思う。
- 民間企業を圧迫しない程度に行政サービスを充実させてほしい。
- 民間企業のサービス提供を見て、不足しているのであれば、その部分を補えばよいと思う。なので、定期的にその民間サービスの状況を掌握することも必要だと思う。
- 年齢によってサービスが受けられるのではなく収入や本人の身体の状態などにも配慮したサービスを行政がした方が良いと思う（低所得者、非課税世帯、現在生活保護を受けている等）
- 民間企業の配食サービスを独居・もしくは高齢者世帯での利用しているのはどのくらいか。よく、利用している方、利用していた方から飽きるのよねとか面倒なのよねとの意見も聞

く。配食サービスを利用している方はある程度お金もあり、社会性もあっての利用だと思う。もっと元気な方はいくつになっても調理したりコンビニやスーパーに行って弁当や総菜を調達したりしている方も多いと思う（いくつになっても選択できるのは満足感が違うので）。そこで、安否の確認は配食サービス・町内会・民生委員・介護サービス等複合的な連携あってのこと。行政は調整役としてのかかわりが必要なのではないか。

- 予算の範囲内であれば充実することを望む。
- 行政と民間どちらのサービスも充実させていくことが必要だと思う。どちらかではなく、両方でサービスを展開してほしい。
- 現在の行政の水準は分からないが、民間のサービスを受けない、受けられない人々へのセーフティーネットとして行政のサービスの提供は続けてほしい。
- 廉価にしてもらい、その分、民間より質が落ちても良いと思う。
- 行政か民間企業等のいずれかにより、必要な水準を満たしてさえいれば十分だと思う。
- 支援する食事が毎日1食では十分と思えない。提供事業者に対し補助金で支援し、対象者が必要な食事数で支援してあげられるような仕組みにしてあげられたら良いのではないか。
- 市から町内会に委託し、町内会で買い物支援、ゴミ出し支援などを実施する中で、安否も確認するのはどうか。
- 行政によるサービスは必要だが、価格を見直す必要があると感じる。
- 民間企業より安価な行政サービスが望ましい。
- 食は重要。地域にもよると思われるが、民間企業の配食サービスが不十分だと思う。
- これから高齢者が増えるので行政だけでは無理な面が出ると思う。

問6-2 問6-1の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙1を参照）	276	77.3%
記載なし（空欄）	81	22.7%
計		357

問7-1 近年、民間企業等による見守りを目的とした緊急通報サービスが充実してきている中、行政が同様のサービスを提供することについて、どのように感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
行政によるサービスを充実させたほうが良いと感じる	166	46.5%
行政によるサービスは現在の水準で十分だと感じる	83	23.2%
民間企業等によるサービスで十分だと感じる	57	16.0%
わからない	43	12.0%
その他	8	2.2%
計		357

【その他の主な内容】

- 民間企業を圧迫しない程度に行政サービスを充実させてほしい。
- 民間企業のサービス提供を見て、不足しているのであれば、その部分を補えばよいと思う。なので、定期的にその民間サービスの状況を掌握することも必要と思う。
- 行政か民間企業等のいずれかにより必要な水準を満たしていれば十分だと思う。また、この場合の必要な水準とは、基本的なことではあるが、見守りとはいえ緊急通報サービスである為、緊急時を発見する早さから実際に処置を行うまでのスムーズさ(時間的短さ)が重要かと思う。
- 一人暮らしの制限をつけず、例えば75歳以上の高齢者だけでお住まいの方を対象とする等充実させてほしい。

問7-2 (問7-1で1を選択した方のみ回答) 緊急通報時に警備員が駆けつけるサービス以外に、高齢者にとってどのようなサービスがあれば安心だと感じますか。【複数回答可能】

選択肢	回答数	回答割合
緊急時だけでなく、警備会社から定期的に連絡して健康状態の確認を行うサービス	94	56.6%
カメラやセンサー付きのコミュニケーションロボットによる見守り・孤独緩和を行うサービス	55	33.1%
普段生活する屋内やトイレ前の廊下等にセンサーを設置し、長期間反応がない場合には、警備会社が自動的に連絡や駆けつけを行うサービス	88	53.0%
その他	12	7.2%

回答者数：166

【その他の主な内容】

- 緊急対応の病院確保。
- 地域の住民と助け合うシステム。
- 行政が介入する際は土日お休みのイメージがあるが、24時間相談窓口や定期的な安心確認があればいいと思う。
- 警察や消防(救急車)に連絡しやすい体制の構築。
- 鍵の扱いについての信頼性確保が(安心が)ない状態では民間の見守りサービスは「異常の通知」までが限度ではないかと思う。
- 離れた場所に住む家族へ、安否情報が届くサービスがあればいいと思う。
- カメラによる自動安否確認や一定時間動きが感知されない場合、家族に直接連絡が行くシステム。
- スマホ等による状況確認。
- 固定電話の契約している人が少なくなっているため、固定電話の契約は必然じゃなくしてほしい。
- 地区にかかりつけの生活相談、福祉サービスがあれば日頃から安心して生活できる。

問7-3 問7-1及び問7-2の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙2を参照）	265	74.2%
記載なし（空欄）	92	25.8%
計		357

問8-1 行政が訪問理美容サービスを提供することについて、どのように感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
行政によるサービスを充実させたほうが良いと感じる	74	20.7%
行政によるサービスは現在の水準で十分だと感じる	121	33.9%
民間企業等によるサービスで十分だと感じる	100	28.0%
わからない	54	15.1%
その他	7	2.0%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計		357

【その他の主な内容】

- 民間企業のサービス提供を見て、不足しているのであれば、その部分を補えばよいと思う。なので、定期的にその民間サービスの状況を掌握することも必要。
- 必要な人にいきわたっているのであれば十分と思うが、どのくらいの利用者がいて、どのくらい稼働しているのか分からないので不便を感じている方が大勢いるのなら充実させてほしい。
- 予算の範囲内であれば充実することを望む。
- 需要を満たしてさえいれば、行政でも民間企業等でもいいと思う。

問8-2 問8-1の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙3を参照）	239	66.9%
記載なし（空欄）	118	33.1%
計		357

問9-1 行政が行う介護用品支給事業について、どのように感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
行政によるサービスを充実させたほうが良いと感じる	127	35.6%
行政によるサービスは現在の水準で十分だと感じる	127	35.6%
民間企業等によるサービスで十分だと感じる	25	7.0%
わからない	70	19.6%
その他	8	2.2%
計		357

【その他の主な内容】

- 要介護者やその家族に対し、介護保険や民間企業のサービスで十分であればよいが、もし不足する部分があれば、そこを行政がフォローしてほしいです。手間はかかるが、個別に適切に判定できるシステムが必要だと思う。
- 民間と行政の住み分け、もしくは根本的な改善が必要と感じている。
- 需要を満たしてさえいれば、行政でも民間企業等でもよいと思う。
- 行政サービスだけでも、民間等のサービスだけでも力不足。
- 保険事業で補填できるのでは？

問9-2 問9-1の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙4を参照）	223	62.5%
記載なし（空欄）	134	37.5%
計		357

問10-1 老人クラブに加入できる年齢（概ね60歳）となった場合に、加入・活動したいと感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
加入・活動したいと感じる	102	28.6%
加入・活動したくないと感じる	180	50.4%
その他	74	20.7%
記載なし（空欄）	1	0.3%
計		357

【その他の主な内容】

- 今はまだ分かりません。
- 加入したいが、「老人クラブ」という名前が不適當だと思う。
- 地域で加入している方が多ければ、加入を考えるとと思う。
- 定年の年齢が延長されてきている現在、60歳では加入は考えません。老人と言われるにはまだ若いと思う。

- 他の高齢者向け事業に参加している。(例：仙台市明治青年大学、豊齢学園公開講座など)
- 今の自分の状況においては老人だけの属性に入りたいとは思わない。健康状態や生活様態の変化で加入したくなることもあると思う。
- 内容により参加するかもしれない。
- 土日祝日のイベントや活動には参加してみたいと思う。60歳を過ぎてフルタイムの仕事をしている人は、準会員のようなかたちがよいと思う。
- 60歳というのは若すぎるように感じる。実際活動に参加している方をみると75~80歳くらいか。
- 加入してみたいけどグループができていて怖そうにも感じる。
- どちらでもいいと思う。
- 生活をする上で、まだ働かなくてはいけないので、活動参加は難しい。
- 独居となった場合は老人クラブで活動したいと感じるが、今は家族がいるので忙しく加入はしない。
- 現在60歳だが、常勤で働いているので、余裕がない。
- その時の自分の精神状態によるかと思うが、加入することで人間関係等ストレスになりそうだったら加入しない。老人クラブが存在することはよいと思う。
- 老人クラブは余生を楽しむ場と考えている。まだ活動が可能ならボランティアや町内会活動等で頑張ることが健康と考える。60歳から余生を楽しむのは現時代は老化への一直線であると感じる。
- 加入年齢をはるかに越しているが現在パートで仕事をしているので暇がない。退職したら活動したいと思うかもしれない。
- 老人クラブというネーミングを変えたクラブになれば参加したい。
- 現在の加入年齢を引き上げてもいいのではと思っているので、80歳になったら考えていく。
- 町内のクラブだと行きづらいので、今はほかのシニアクラブに所属している。
- 私は60歳の時は仕事が現役で、加入する気は全くなかった。75歳になってから、加入を申し込んでいる。
- 実際に活動してみて、場の雰囲気味わってみたいと確信を持った答えは出来ない。
- 仕事をやめたら、参加したいと思うので、60歳になってすぐには思わない。
- 60才以上とのことだが、私は68才の時に仙台に越してきたが、老人クラブのことなど区役所で聞かされていないし、同じマンションにも年配の方がいるが、交流が全然ないので、話を聞く機会もない。
- 活動内容や場所、メンバーなどによっては加入したいと思う。

問 10-2 問 10-1 の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙 5 を参照）	248	69.5%
記載なし（空欄）	109	30.5%
計		357

問 11-1 地域での支え合い活動（ボランティア活動）に参加・協力したいと感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
参加・協力したいと感じる	217	60.8%
参加・協力したくないと感じる	95	26.6%
その他	45	12.6%
計		357

【その他の主な内容】

- 長寿になった自分を労り、趣味に 1 番時間を割きたいと思う。
- 生活に余裕があれば参加出来ると思う。
- 年齢・肉体的状況からして、自分のことで精いっぱい。
- 参加する活動をどこで募集しているのかがわからない。
- 今は仕事をしていて忙しくて、ボランティア活動までできないが、仕事をやめたときは地域貢献したいと考えている。
- 今は仕事と子育てが忙しいので、子供が自立したら参加したいと思う。
- 興味気持ちはあるが実際には一度も参加した事はない。
- お互い様なので、ご近所の方と協力したり、顔を覚えたりあいさつすることで、防犯などにつながると思う。
- 活動内容、メンバーにより参加協力したいと思う。
- 時間、場所等が限定されると難儀。

問 11-2 問 11-1 の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙 6 を参照）	246	68.9%
記載なし（空欄）	111	31.1%
計		357

問 12 地域において、どのような支え合い活動（ボランティア活動）が必要だと感じますか。【複数回答可能】

選択肢	回答数	回答割合
歩道や公園等の緑化・美化活動	192	53.8%
高齢者に対する定期的な見守り活動	207	58.0%
防犯、交通安全等のための活動	195	54.6%
集会所等を集まって軽運動やレクリエーション等を行うサロン活動の企画・運営	139	38.9%
掃除、草取り、ゴミ出し、買い物代行等の日常生活支援	199	55.7%
その他	24	6.7%

回答者数：357

【その他の主な内容】

- 子どもの見守り、健全育成
- 「IT」教室等を希望
- 何でもボランティアで考えるのは無理だと思う。
- 何もしなくて良い。ボランティアは必要ない。
- 特に支え合い活動はせず、必要に応じて民間を利用すればいいと思う。
- 高齢者が過去の活動（仕事他）で得たノウハウをもっと生かしていける仕組みが必要。
- 路面アスファルト亀裂、欠損早期発見、補修、安全標識、施設の破損修復、公衆街路灯（公園を含む）昼間点灯、夜間不点灯対策、街路樹の成長に伴う照明害や枯木の落下事故防止対策
- 世代（0～100歳）交流・社会学習（勉強）会
- 子供の成長に寄与できる活動
- 地域により、ボランティアできる人の人数や年代、すぐにできるボランティア内容などが違うと思う。自分の地域でできること、課題となっていることから始めることが大事に思う。市全体として、一律に設定するのは、難しいと思う。また、地域で課題を見つけ出すことも、地域のコミュニティにつながると思う。
- 対価を払って、若者に還元しなくてはならないと思う。
- 買い物や病院の送迎支援。特に、買い物は楽しみの一つかと思う。近年、近くのバス停が廃止になり、歩いて行けるスーパーも閉店した。定期的に巡回してくれる車があるといい。
- 町内会活動は、年配の方の活動という印象がある。様々な年代の地域住民が、気楽に参加できる企画。お茶をしながらおしゃべりするような時間をもつことが必要。
- 保存食等の知恵や昔の遊びなど、子供から大人まで交われる公的な場所、企画があると良いのでは？
- 用途を限定せずに地域活動に使用できる地域コミュニティ補助として支給申請できるようにすることで、それぞれの地域の問題点を地域住民で考えて解決していく地域政治が必要。

問 13-1 シルバー人材センターに登録できる年齢（原則 60 歳）となった場合に、シルバー人材センターに登録・活動したいと感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
登録・活動したいと感じる	149	41.7%
登録・活動したくないと感じる	141	39.5%
その他	67	18.8%
	計 357	

【その他の主な内容】

- 自分にできることがあれば考える。
- 介護保険内で使える範囲とそれ以外のボランティアの境が難しいと思う。
- どのような仕事があるかわからないので判断がつかない。
- 仕事を引退したら参加する。60 才になってすぐに参加はしない。
- 自営業なので、仕事を止めて体力が残っていたならしてみたい。
- 今は魅力を感じないので、登録したいと思わないが、これからの期待する。
- 登録料が必要と聞いていますので登録をしていない。
- 60 歳の時点では現役だったので何も「感じなかった」。75 歳で関心を持ち説明会へ参加したが、登録は見送っている。
- 力仕事のことが多いと想像しており、自分にできることがあるのかよくわからない。
- 登録したいと思うが、なにか自分に登録できる能力があるのかわからない。
- 以前活動したが、やりたい仕事なかった。
- ボランティア活動が多いので人材センターに登録はしていない。
- 一度、登録したが、何の仕事も紹介されなかった。同じ人が仕事を独占しているのでは？という疑問をもったからやめた。

問 13-2 問 13-1 の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙 7 を参照）	228	63.9%
記載なし（空欄）	129	36.1%
	計 357	

問 14-1 行政が高齢者の銭湯利用を支援することについて、どのように感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
行政による支援を充実させたほうが良いと感じる	49	13.7%
行政による支援は現在の水準で十分だと感じる	145	40.6%
行政による支援は縮小させたほうが良いと感じる	18	5.0%
行政による支援は必要ないと感じる	70	19.6%
わからない	67	18.8%
その他	8	2.2%

計 357

【その他の主な内容】

- すべての質問がそうであるが、質問文だけでは正確な判断ができないと感じる。利用者がどのくらいいるのか？年間の予算がどのくらい入っているのか？利用に際しての条件などわからない状態ではアンケートの意味はほぼ無いと感じる。アンケートをちゃんと行った結果である、という行政側の自己満足に終始している、と言われても仕方がないやり方だと感じる。
- 支援自体は良いことだと思うが、銭湯がない地域の方が多いので、この質問は邪道だと思う。

問 14-2 問 14-1 の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙 8 を参照）	219	61.3%
記載なし（空欄）	138	38.7%

計 357

問 15-1 敬老祝金事業について、どのように感じますか。

選択肢	回答数	回答割合
事業を充実させたほうが良いと感じる	73	20.4%
事業は現在の内容で十分だと感じる	171	47.9%
事業を縮小させたほうが良いと感じる	24	6.7%
事業は必要ないと感じる	58	16.2%
わからない	22	6.2%
その他	9	2.5%

計 357

【その他の主な内容】

- やめて、出産祝い金の増額財源にしたらどうか。
- 非常に難しい問題。以前は 100 才まで生きる方は希少であり、100 万円のお祝い金支給等

ニュースになった時代もありますが、平均寿命が90才近くまで延び、高齢化率がここまで高くなってくるとどうなのでしょうかと判断しにくい。ただ、少子高齢化ということで子供たちへの支援が拡充されつつある。ここでスパッとなくなると、いかにも長生きしているのが罪のような気持ちになるのは、近い将来私が迎えつつあるから被害的な観点からか。

- 88歳で1万は少なすぎると思う。
- 制度が中途半端で分かりにくいので、90歳で3万円の線に統一してはどうか。90歳まで生きれば、十分に長生きしたと思う。
- 生きるためのちょっとした活力になりそうなのでいいと思うが、本人たちが感じる事なので実際はどうかかわからない。
- 所得で細分化した方が良くと思う。
- 今後高齢者は増えるので、財源が必要では。

問 15-2 問 15-1 の回答について、選択された理由や意見・補足等をご記入ください。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙9を参照）	224	62.7%
記載なし（空欄）	133	37.3%
計		357

問 16 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進、住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのような福祉事業の充実が必要であると感じますか。

回答状況	回答数	回答割合
記載あり（回答詳細は別紙10を参照）	253	70.9%
記載なし（空欄）	104	29.1%
計		357

以 上